

# 五

却

（資報第三號ノ追加）

南方各地ノ狀況（太平洋島嶼ヲ含ム）

昭二〇一ニニ  
資料課

最近ノ現地軍ヨリノ報告其他ヲ綜合スルニ各軍ハ聯合軍側ノ指示ニ基キ移駐、集結、内地歸還等概ネ順調ナル經過ヲ辿リツツアルモノ、如キモ南方就中馬來、蘭印、「ニューギニヤ」、南部佛印方面等ニ於テハ治安及食糧事情ノ悪化、兵員ノ急激ナル衛生損耗、聯合軍側ノ取扱不良、輸送ノ不如意等ニ基因シ復員將兵ノ狀況ハ必ズシモ樂觀ヲ許サザルモノアリ

比島、沖繩、太平洋島嶼ニアリテハ既ニ一部又ハ大部ハ内地歸還復員中ニシテ大ナル憂慮ナカルベシ

保管

北、中部佛印ニ於テハ夫々海内及「ソドラン」ヲ中心トスル地區ニ兵力ヲ集結シ歸還準備中ニシテ一部ノ特殊部隊ハ中國側ノ指示ニ依リ諸作業ニ從事ンアリ

治安、佛軍、南部進駐ニ伴ヒ一時中部地區ニ於テ對日感銳化セ  
ルモ諒停ニ依リ目下平靜化シアリ  
安南人ハ一般ニ我ニ好感ヲ有シアリ  
尙中國側トノ交渉ハ目下ノ處友好的ナルモ今後佛軍ノ進駐ヲ見  
ルニ至レバ紛争惹起ノ算アリ  
糧食ハ軍保有米ヲ明年二月頃迄有シアリテ爾後ハ中國側ヨリ主  
食ヲ受クル筈ナリ

2 南部佛印ニ於テハ西貢ヲ中心トスル越南軍ハ獨立運動ヲ目的ト  
スル越盟黨員ヲ主体トスルハ聯合軍ヲ排撃、各地ニ兩者ノ衝突  
頻發シアリテ最近ハ日本軍ガ聯合軍ノ指示命令ニ依リ治安維持  
上越南軍ノ行動ヲ抑制スルニ至リ日本軍ニ對シテモ面白カラザ  
ル關係ニナリツツアリ

日本軍主力ハ十一月二十日新々ニ各兵團ヨリ抽出編成セラレシ  
南部印度支那軍一司令官 [ ] 中將トナリ治安維持ニ從事シ

アリ

糧食ハ從來最モ恵マレアリタルモ前記越南獨立運動ニ伴ヒ漸次困難トナリ又日本軍ノ集積保有量ハ相當ナルモ逐次聯合軍ノ管理ニ移リツツアリテ今後聯合軍ヨリノ制限配給ヲ受グルニ至ルモノト豫想セララル

聯合軍ハ英第二〇師團ニシテ佛印ノ内政ニハ關係セズ日本軍ノ處理ヲ速急ニ行ヒ逐次撤退シツツアルモノノ如ク佛軍ハ元佛印軍ニシテ我軍ノ俘虜タリシ巨海軍約四萬ト稱スルモ不詳ナリ

## 二、泰、緬甸

南泰ニ於ケル我ガ軍ハ毎日五〇〇名宛「レンガム」地區ニ集結シツツアリ

將來更ニ「レンバン」島ニ移駐ノ豫定ニシテ緬甸方面其ノ後ノ狀況ハ不明ナリ

ハ順調ニ逐次内地ニ歸還中ナリ

残留者ハ復舊作業等ニ従事シアリ

食糧 一日甘薯約二〇〇〇瓦米約一〇〇〇瓦ソノ他鱈ノ大漁アリ憂

慮スベキコトナカルベシ

3. 父、母島

順調 逐次内地ニ歸還中一般ニ平穩ニシテ軍紀概ネ嚴正ナリ

給与 主食一日五〇〇〇瓦ニシテ憂慮スベキコトナシ

4. 沖繩方面 (宮古島)

順調ニ逐次内地ニ歸還中ナリ

米軍ノ態度ハ概シテ良好ナリ

給與ハ不良ニシテ米軍ノ援助アレ一般邦人ハ終戦後ノ歸趨問題並

ニ逼迫セル食糧問題等ノ為動逆ノ憂ニ達シツツアルモ各方面ノ調

停ニヨリ逐次沈靜化シツツアルモノアリ

最近

第二、南方各地ノ狀況（太平洋島嶼ヲ全ム

前言

其ノ後ノ現地軍ヨリノ報告其他ヲ綜合スルニ依然各軍ハ聯合軍側ノ指示ニ基キ集結、内地歸還等概ネ順調ナル經過ヲ辿リツツアルモノノ如キモ南方就中馬來、蘭印西部「ニューギニヤ」「ビルマ」、南部佛印方面等ニ於テハ食糧及治安狀況ノ悪化、兵員ノ急激ナル衛生損耗、輸送ノ不如意等ニ基因シ復員將兵ノ狀況ハ必スシモ樂觀ヲ許ササルモノアリ

比島、東部「ニューギニヤ」太平洋島嶼方面ニアリテハ既に大部ハ内地ニ歸還復員中ニシテ大ナル變遷ナカルヘシ

6. 引揚ヲ完了セル諸島左ノ如シ

島名	陸	海	民	計
ソソルトコベイメリル	八六八	一三	一四	八九五
メレヨン	七八八	八四〇	〇	一、六二八
エンターピー	七一七	八九	〇	八〇六
モートロツク	七一九	二四九	〇	九六八
クサイ	三、三七五	二八二	四一八	四、一七五
ヤルート	六二〇	一、一一八	六九	一、八〇七
マロエラツプ	一七一	九〇九	〇	一、〇八〇
ウオツゼ	一三六	七〇四	〇	八四〇
ウエーク	五七一	六一六	〇	一、一八七
シレ	九六七	一、四〇四	〇	二、三七一

(1) 南西諸島及小笠原諸島方面ハ其大部既ニ内地ニ歸還シ、殘余ハ歸還  
 行機中ノモノ及米軍ノ勞務又ハ戰犯容疑者乃至ハ患者等ナリ  
 一月末頃迄ノ歸還状況左ノ如ク

島名	陸	海	長	計
沖繩本島	二、一七五	二〇八	一八二	二、五六五
石垣島	五三二六	二、六二二	一、一八	八、〇六六
宮古島	一〇〇二三	一、六九七	一、一	二、七〇〇
奄美大島	五九〇九	二、〇〇九	四、三二二	八、〇六六
南大東島	三、五二八	一、五〇二	一、〇〇〇	五、〇三〇
北大東島	八九五	五〇〇	一、〇〇〇	一、九〇五
中大東島	二、一〇二	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、一〇二
小笠原	一、一八七	七四三	一、二二三	三、一五三
	三、二四八	一、三三三	一、二二三	五、八〇四

(註) 括弧内ハ殘留者ヲ示ス

(2) 沖繩本島方面ノ狀況

終戦前後ノ狀況

イ、日本軍ノ狀況

終戦以降日本軍ノ組織的破壊終焉シ爾後「ゲリラ」戦ニ入ル官時  
ノ残存兵力一万五千内外其迄ニ米軍捕虜トナリシモノ七百内  
外、終戦迄ニ投降セルモノ九千五百(邦人ヲモ含ム)ニ達ス  
其他ハ投降ヲ肯セス山中ヲ彷徨或ハ本島ヲ脱出他島ニ逃走シ  
リ  
其ノ間部隊ニヨリテハ残存兵力ヲ以テ頑強ニ抵抗シ或ハ目的  
ニ投降セルモノアリ

八月十五日以降十二月頃迄ニ投降セルモノ將校四五〇以上下士  
官一、五〇〇兵六、五〇〇名以上ト見做サル

終戦後ニ兵ハ一、〇〇〇ヲ單位トシ收容セラレ米軍ノ指定スル  
使役ニ従等シアリ

終戦當初希疎將兵間或ハ朝鮮人日本ノ間ニ衝突アリシモ遂



右ハ軍ノ該島進駐以來作戰準備ニ島民ノ  
民間ノ關係ハ極メテ圓滑ナリシ等ニ起因スル外該島一般ニ物  
不足ニシテ自給自活困難及米軍ノ物資援助皆無等ニ因ルト雖モ  
一般就中有力者ハ將來ニ於テ配迄日本所屬ニ復歸セントノ筆  
ナル氣持ヲ有シアリ

2 現地官公吏ハ沖繩作戰前ヨリ俸給ノ支配ヲ受ケアラス中央ニ於  
テモ聯合軍折衝ノ上速ニ善後措置ヲ講スルヲ要ス

又沖繩作戰前臺灣又ハ内地方面ニ強制隊<sup>カ</sup>セシメラレタル者ノ該  
島歸還ニ關シテハ極力援助方相煩度現在三々五々歸還中ノ島民  
ハ臺灣等ヨリ高價ナル代金ヲ拂ヒ小舟等ニテ危險ヲ冒シ歸還シ  
アリ

之等ハ成シ得レハ軍隊ノ輸送船等ヲ利用シ速ニ歸還セシムルヲ  
可トス（臺灣ノ軍隊内地輸送ニ方リ之ヲ利用ス）

#### (4) 宮古島方面

ノ宮古島方面ノ軍隊ノ大部ハ内地ニ歸還スルモ聯合軍ノ指令ニ依

リ歩三聯隊長 **■** 大佐以下將校約三〇〇名（聯合軍個人指名）  
下士官、兵約六、六〇〇名計約七、〇〇〇名夫々建制ヲ分割セ  
ラレバラバラトナリテ沖縄本島ニ派遣ヲ命セラレ十二月中旬宮  
古島ニ發セリ

右將校以下ニ對スル聯合軍ノ意圖ハ全然不明ナルモ下士官、兵  
ハ勞務ニ使用セラルヘク將校ハ之カ幹部要員ニアラスヤト觀ラ  
ル

何レニシテモ之等將兵ノ歸還ハ相當遲延スルモノト判斷セラレ  
又歸屬問題ニ關シテハ終戦當時島民一般ニ應キタルモ米軍以下  
ニ入りシ以降ハ該軍ノ物資的援助ヲ依存シ石垣島ノ如キ熱意ヲ  
見ス反ツテ米軍所屬ヲ欲シテムカ如キ感アリ